SHARP

AQUOS
オーディオ

1ビットシアターラックシステム

形名

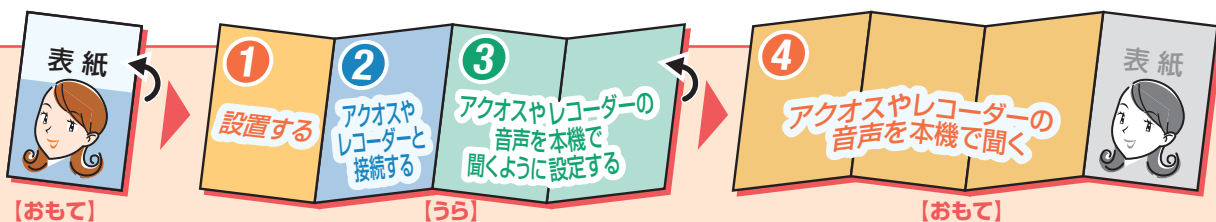
AN-ACR1（エイ エヌ エイ シー アール）

AN-ACS1（エイ エヌ エイ シー エス）

かんたん!! ガイド 掲載内容

【おもて】

【うら】

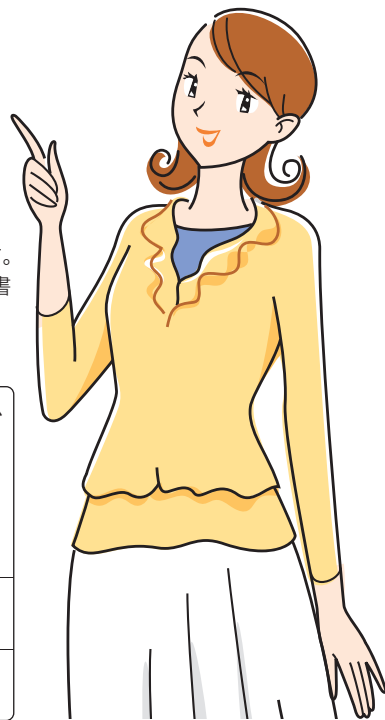
【おもて】

本書は、設置およびアクオスに連動して動作するファミリンク機能を使うための接続・設定・操作方法をまとめたガイドです。

ファミリンク機能*とは…

- 本機とHDMI CEC（Consumer Electronics Control）対応の当社製アクオスやデジタルハイビジョンレコーダー、ブルーレイディスクプレーヤーなどの機器を接続することで、これらの機器が相互に連携し動作する機能です。
- アクオスのリモコン（またはハイビジョンレコーダーのファミリンク対応リモコン）をアクオスに向けて操作することにより、アクオスの動作に連動して本機の電源「入/切」や音量調整、消音、音声切換などを行うことができます。

＊ 製品によっては、ファミリンク機能の名称ではなく、HDMIコントロール機能という名称を使用しているものもあります。また、新製品など下表に該当しないファミリンク対応製品と組み合わせてご使用の場合は、操作方法や表示内容が本書に記載されている内容と異なる場合があります。

ファミリンクに対応している当社製製品（2007年3月現在）

アクオス	LC-65RX1W、LC-52RX1W、LC-52GX1W、LC-52GX2W、LC-46RX1W、LC-46GX1W、LC-46GX2W、LC-42GX1W、LC-42GX2W、LC-37GS10、LC-37GS20、LC-37GX1W、LC-37GX2W、LC-37GH1、LC-37GH2、LC-32GS10、LC-32GS20、LC-32GH1、LC-32GH2、LC-32D10、LC-26D10
デジタルハイビジョンレコーダー	DV-ACW60、DV-ACW55、DV-ACW52、DV-ACW38、DV-AC55、DV-AC52、DV-AC34、DV-AC32、DV-ACV32
ブルーレイディスクプレーヤー	BD-HP1

故障かな?と思ったら… 詳細は取扱説明書をご覧ください。

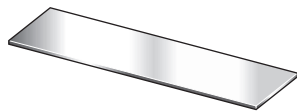
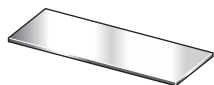
※詳細は、取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

Printed in Malaysia

TINSJA182WJZZ
07P03-MA-NM

1 設置する

付属品

天板ガラス

棚板ガラス　　壁当て

・本機にキャスターは付いていません。

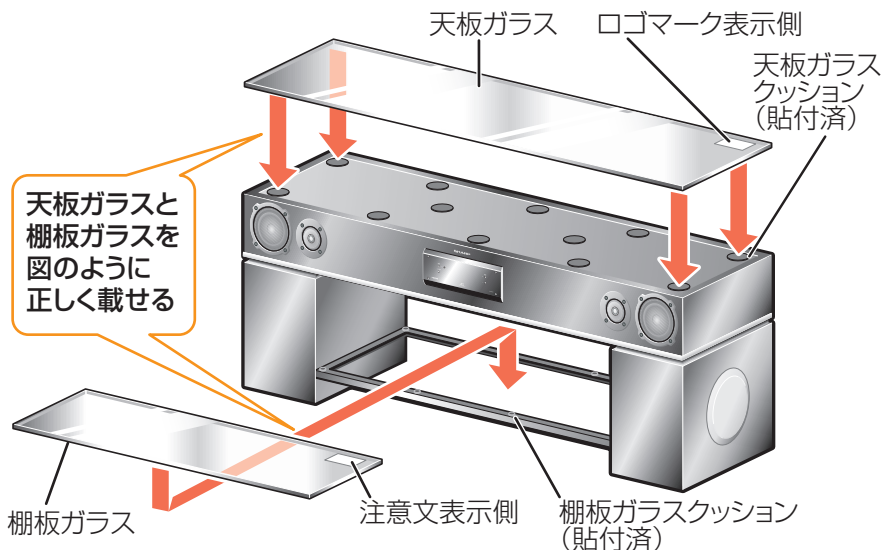
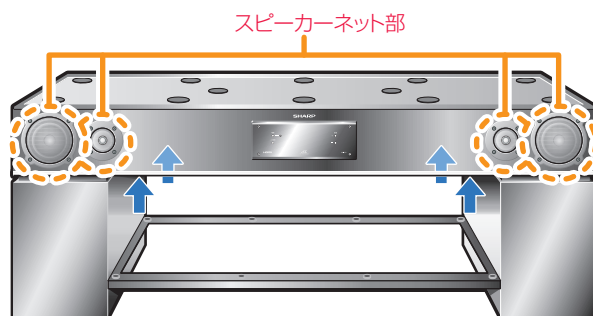
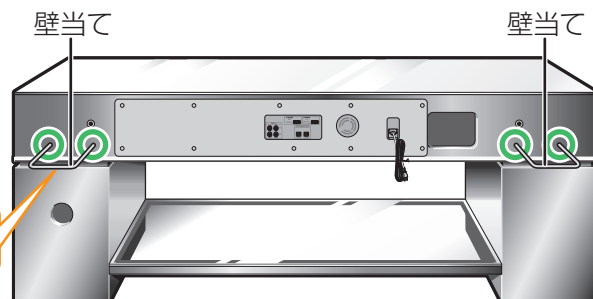
ご注意

「持ち運びする」ときは…
- 本機は非常に重いので、持ち運びなどの作業は必ず2人以上で行ってください。
- 前面のスピーカーネット部分や壁当ての部分を持たないでください。
  持ち運びするときは、天板部下側の ↑ マークの部分を持ってください。
- 棚板ガラスを載せる金属フレームの部分を持って、持ち運びを行わないでください。

<正面>

1.天板ガラスと棚板ガラスを載せる

天板耐荷重: 約100kg(AN-ACR1)
約80kg(AN-ACS1)
棚板耐荷重: 約25kg

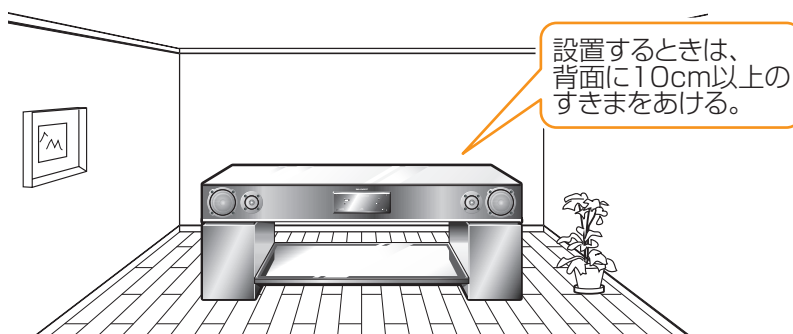
- 天板ガラス／棚板ガラスは固定されません。
- 天板ガラス／棚板ガラスを載せたあと、本機を移動するときは傾けないでください。ガラスが落下してけがの原因になることがあります。

2.壁当てを取り付ける(左右2ヶ所)

設置時に本機と壁との間にスペースを確保し、設置後に電源コードや接続ケーブルを通しやすくするためのものです。

<背面>

3.本機を設置する

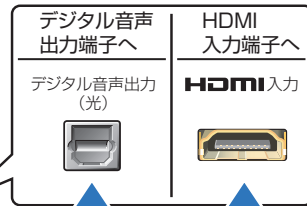
作業スペースを十分確保のうえ、本機を設置してください。

本機にテレビを設置する際は本機の中央に載せ、安全のためテレビの転倒防止策の実施をお願いします。
詳しくは別冊の取扱説明書(16ページ)をご覧ください。

2 ファミリンク機能を使うために
アクオスやレコーダーと接続する

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。
また、それぞれの機器の取扱説明書もよくご覧ください。

アクオス
（HDMI CEC対応）

デジタル音声出力端子へ
デジタル音声出力（光）

HDMI入力端子へ
HDMI入力

デジタルハイビジョンレコーダー
（HDMI CEC対応）

HDMI出力
HDMI出力端子へ

光デジタル音声ケーブル
付属品㋑

アクオスの音声を本機で聞くための接続
ファミリンクのための接続

HDMIケーブル
付属品㋐

コントロール信号およびレコーダーの映像をアクオスで見たり、音声を聞いたりするための接続
ファミリンクのための接続

HDMIケーブル
（約1～1.5mの市販のHDMI認証品ケーブルをお使いください。）

コントロール信号およびレコーダーの音声を本機やアクオスで聞き、映像をアクオスで見るための接続
ファミリンクのための接続

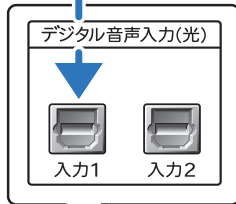
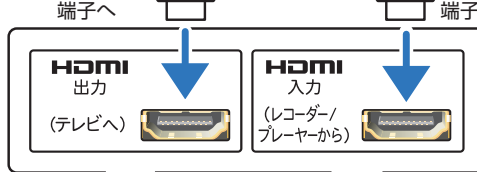
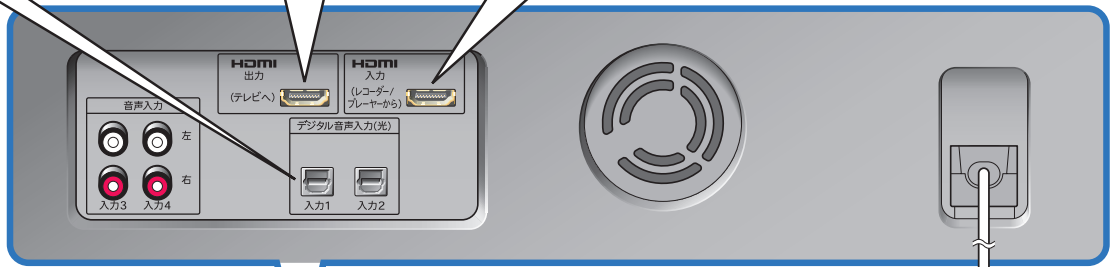
両方接続する

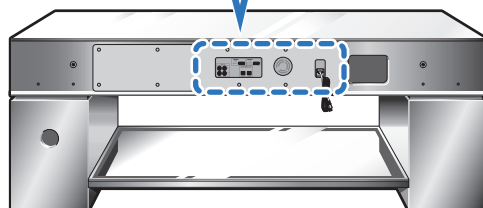
入力1端子へ
デジタル音声入力(光)
入力1　入力2

HDMI出力端子へ
HDMI 出力（テレビへ）

HDMI入力端子へ
HDMI 入力（レコーダー/プレーヤーから）

本機背面アンプ部

音声入力　左　右　入力3　入力4
HDMI 出力（テレビへ）
HDMI 入力（レコーダー/プレーヤーから）
デジタル音声入力(光)　入力1　入力2

電源コード

本機（背面）

・すべての接続が終ってそれぞれの機器の電源プラグを差し込むときは、テレビの電源プラグを最後に差し込んでください。
・HDMIケーブルの抜き差しや接続方法を変えた場合は、全ての機器の電源を入れた状態でテレビの電源を入れ直してください。

ファミリンク機能を使うために

3 アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

（アクオスのリモコンを使います）

アクオスのリモコン（例）

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

アクオスやレコーダーの音声を本機で聞くように設定する

1 電源 を押す

2 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

• ファミリンク機能選択画面が表示されます。

3 で「AQUOSサラウンドで聞く」を選び、決定 を押す

・「AQUOSサラウンドで聞く」モードになり、本機から音声が出ます。

おしらせ
・表示は「AQUOSで聞く」に切り換わります。
再度、アクオスで音声を聞く場合は「AQUOSで聞く」を選んで、[決定]を押してください。

4 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

• ファミリンク機能選択画面が消えます。
• 画面が消えているときに押すと、画面が表示されますので、もう一度押して画面を消してください。

おしらせ ・ファミリンク動作時（「AQUOSサラウンドで聞く」モードの時）は、アクオスと本機の両方から同時に音を出すことはできません。

アクオスから音声を聞くように戻すには…

上記の手順3で「AQUOSで聞く」を選び、決定 を押します。

・「AQUOSで聞く」モードになり、アクオスから音声が出ます。

おしらせ
・表示は「AQUOSサラウンドで聞く」に切り換わります。
再度、本機で音声を聞く場合は「AQUOSサラウンドで聞く」を選んで、[決定]を押してください。

おしらせ ・本機は消音モード状態になります。

デジタル放送のテレビ番組ジャンル情報に合わせて、本機のサウンドモードが自動で切り換わるように設定する

• ジャンル情報の詳細につきましては、次ページをご覧ください。

1 メニュー を押す

• メニュー画面が表示されます。

2 で「機能切換」−「ファミリンク設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「ジャンル連動設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

4 で「する」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

本機の表示部

5 メニュー を押す

• メニュー画面が消えます。

ジャンル連動設定を解除するには…

上記の手順4で「しない」を選び、決定 を押します。

デジタル放送のサラウンド番組を迫力ある音声で聞けるように設定する

1 メニュー を押す

• メニュー画面が表示されます。

2 で「デジタル設定」−「デジタル音声設定」を選び、決定 を押す

アクオスの画面例

3 で「AAC」を選び、

決定 を押す

アクオスの画面例

4 メニュー を押す

• メニュー画面が消えます。

おしらせ
「PCM」に設定した状態では…
・音声多重放送の受信中に、アクオスのリモコンでアクオスに向けて音声切換の操作をしたとき、アクオスの画面には「主」や「副」の切換表示がされて、本機で聞いている音声も同時に切り換わりますが、本機には何の切換表示もされません。
このとき、本機で同時に切換表示をさせるには「AAC」に設定してください。

ファミリンク機能を使って

4 アクオスやレコーダーの音声を本機で聞く （アクオスのリモコンを使います）

アクオスに向けて操作します。

・アクオスのリモコンは本機の付属品ではありません。
・アクオスのリモコンは機種によって仕様が異なります。

アクオスの音声を本機で聞く

1 電源 を押す

- アクオスに連動して本機の電源が自動で入ります。
- 本機の入力切換が自動で「入力1」になります。
- デジタル放送のテレビ番組ジャンル情報に連動して、本機のサウンドモードが自動で切り換わります。（「ジャンル連動設定」を「する」にしている場合…前ページ参照）

おしらせ
レコーダーの音声を聞く場合は…
入力切換 を押して、アクオスのHDMI入力に接続されている「レコーダー」の入力を選ぶ

- 本機の入力切換が自動で HDMI になります。

2 音量 を押して、音量を調整する（大きくなる／小さくなる）

- アクオスと本機に音量レベルが表示されます。

おしらせ
- 入力2〜4に接続した他の機器の音声を聞きたいときは、本機の「入力切換」ボタンで聞きたい機器の入力を選んでください。
  本機の電源「入/切」や音声調整、消音などはアクオスに連動し操作できます。
- 他の機器の音声を聞いていた状態で電源を切り、アクオスの電源を入れるとアクオスに連動し入力が切り換わります。

聞き終えたら

電源 を押して、電源を切る

- アクオスに連動して本機の電源も自動で切れます。

デジタル放送のテレビ番組ジャンル情報

ジャンル情報（電子番組表）	放送の信号	サウンドモード
ジャンル情報がある番組（デジタル放送など）		
情報／ワイドショー／ドラマ／バラエティ／ドキュメンタリー／趣味／教育／福祉	ステレオ／マルチチャンネル	スタンダード
映画	ステレオ／マルチチャンネル	シネマ
ニュース／報道	ステレオ／マルチチャンネル	ニュース
スポーツ	ステレオ	スポーツ1
	マルチチャンネル	スポーツ2
音楽／劇場／公演	ステレオ	ミュージック1
	マルチチャンネル	ミュージック2
アニメ／特撮	ステレオ	スタンダード
	マルチチャンネル	シネマ
ジャンル情報が認識できない番組		
地上アナログ放送やDVDソフトなど	ステレオの場合はワイド感拡張、マルチチャンネルの場合は、ドルビーバーチャルスピーカーに設定されています。お好みのサウンドモードでお聞きになりたいときは、手動で切り換えてください。	

サウンドモードを手動で切り換えるには…

アクオスのリモコン（例）

1 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

- ファミリンク機能選択画面が表示されます。

アクオスの画面例

- ■ファミリンク機能選択
- AQUOSレコーダーで予約する
- 録画リスト
- メディア切換
- AQUOSで聞く
- サウンドモード切換
- HDMI機器選択

2 （▲▼◀▶）で「サウンドモード切換」を選び、決定 を押す

- 決定 を押すたびに次の順に切り換わります。

スタンダード → シネマ → ニュース → ミュージック 1 → ミュージック 2 → スポーツ 1 → スポーツ 2 → ナイト →（スタンダードへ戻る）

入力1
スタンダード
ジャンルオート

3 リモコンフタ内の 機能選択 を押す

- ファミリンク機能選択画面が消えます。

アクオスに向けて操作します。

アクオスのリモコン（例）

一時的に音を消すには（消音モード）

消音 を押す

消音モードを解除するには

- もう一度、消音 を押す　または 音量 を押す。

おしらせ
アクオスと本機の両方から音を出したい場合は…
- アクオスから音が出ている状態で、本機のリモコンを本機に向けて「消音」ボタンを押してください。
  一時的に本機の消音モード状態が解除され、アクオスと本機の両方から音が出ます。

音声多重放送の音声を切り換えるには

リモコンフタ内の 音声切換 を押す

- 音声切換 を押すたびに次の順に切り換わります。

主（主音声） → 副（副音声） → 主／副（主音声+副音声） →（主へ戻る）

おしらせ
レコーダーの音声多重放送を聞くときは…
- レコーダーのデジタル音声出力設定を「PCM」にして、レコーダーのリモコンをレコーダーに向けて「音声切換」の操作をしてください。
- 音声出力設定が「AAC」の場合は、本機のリモコンを本機に向けて「音声切換」の操作をしても同様に切り換えできます。